

令和3年度 北九州市障害者自立支援協議会 各部会の取組

		相談支援部会 (部会長：大塚 広島文化学園大学教授)	地域ネットワーク部会 (部会長：山根 ふたば保育園長)	権利擁護部会 (部会長：深谷 北九州市立大学教授)
令和2年度	主な議論	・北九州市版倫理綱領の策定について	・地域生活支援拠点の整備について ・拠点受入のためのフェイスシートの作成について	・意思決定支援について ⇒支援者向けアンケートの実施及び自立支援フォーラムでの事例発表
	課題及び今後の方向性	・倫理綱領の策定に向けたワーキングの設置（R3） ・「相談支援事業所連絡会」を自立支援協議会の会議体の一部として運営（定期開催及び会議回数の増） ⇒相談支援専門員の参画や事業所間の連携強化（R3）	・ワーキングによる拠点受入のためのフェイスシートの見直し・改善 ・地域生活支援拠点の認定基準	・意思決定支援の掘り下げ ⇒当事者家族会向けアンケートの実施（R3）
令和3年度	実施内容	【実施内容】 ◎ <u>倫理綱領の策定</u> ○ ワーキングの開催（9回） ◎ <u>指定相談支援事業所連絡会議の開催</u> ○ 連絡会議の開催（3回） 【主な内容】 ・第2回アンケート「コロナ禍での相談支援について」結果報告 ・倫理綱領に関するグループ討議等 ・医療的ケアが必要な子どもの災害時個別支援計画（行政報告）等	【実施内容】 ◎ <u>フェイスシートの改定</u> ○ ワーキングの開催（4回） ◎ <u>地域生活支援拠点の認定基準の策定</u> ➤ 地域生活支援拠点の機能のうち「相談」「緊急時の受入れ・対応」「体験の機会・場」を担う事業所を認定するための基準を策定中 ➤ 運用にあたっては、既存の事業所等から1ユニット（単位）を認定し、一つのグループを形成。 ⇒モデル的に運用し、支援状況や課題等を検証	【実施内容】 ◎ <u>意思決定支援に関する調査</u> ○ 家族会へのヒアリング調査及びアンケート調査 ⇒市内障害別家族会に協力を要請し以下の団体とヒアリングを実施 ・北九州あゆみの会 ・北九州市手をつなぐ育成会 ・北九州市自閉症児者の未来を考える会 ・あかつき会 ・北九州精神障害者福祉会連合会 ※令和4年2月末をもって一旦終了